

下記のホームページにウイルスの歴史が載っています。読んでください。

<http://www.ipa.go.jp/security/outline/outline-j.html>

そこでは次のようなことを提唱しています。

【パソコンユーザのためのウイルス対策7箇条】

1. 最新のウイルス定義ファイルに更新しワクチンソフトを活用すること
2. メールの添付ファイルは、開く前にウイルス検査を行うこと
3. ダウンロードしたファイルは、使用する前にウイルス検査を行うこと
4. アプリケーションのセキュリティ機能を活用すること
5. セキュリティパッチをあてること
6. ウイルス感染の兆候を見逃さないこと
7. ウイルス感染被害からの復旧のためデータのバックアップを行うこと

私たちが一番感染する可能性があるのは電子メールです。最近ではマクロを使って簡単に作れるようになりました。次にその予防を示します。

原則として外部から持ち込まれた FD,CD-ROM、およびダウンロードしたファイルはウイルス検査したあとに開くこと。

1. 知らぬ者からの添付メールは開かない。もし開くなら、事前にウイルスチェックをする。
ファイル、アプリケーションなら右クリックして「ウイルススキャン」を実行する。
メールなら Microsoft Outlook (茶色のもの) を使っているなら「ツール」から「ウイルススキャン」を実行する。普通の Outlook Express(青色のもの)なら添付ファイルを一度外に出し、「ウイルススキャン」を実行する。
2. 開くときに特にマクロを実行しますかと言われたら、一度「いいえ」を押し、メール発信者に安全かどうか問い合わせること
3. 時々「スタートメニュー」から「McAfee VirusScan」を実行する。

不幸にも感染してしまったら、ソフトを使って除去するしかない。それでだめならシステムの再インストールしかない。そのときはパソコンにあるすべてのデータがなくなる覚悟をしなければならない。まずは状況をよく調べ、インターネットなどで情報を収集する。

転ばぬ先の杖、大切な書類は必ず FD,MO,CD-ROM,外付け HDD などに別にバックアップを取っておくこと。

